|  |
| --- |
| **投　稿　表　紙**西暦　　　　　　年　　　　月　　　　日送付 |
| 原稿の種類 | 　　論文　・　ショートノート　・　記事　・　会告 |
| ふりがな執筆者氏名（執筆代表者に＊を付ける） |  |
| 和文題目 |  |
| 英文題目 |  |
| 原稿分量 | 和文原稿　　　　　　　　枚本文を含む総文字数（ 字） | 欧文原稿　　　　　　　枚本文を含む総文字数　　（ 字） |
| キーワード（SDGsを含む５つ） | ① | ② | ③ |
| ④ | ⑤ |  |
| SDGsとの関連性（100字以内で） |  |
| 新規性 | 該当の記号を記載 | （詳細な内容を記載） |
| 有用性 | 該当の記号を記載 | （詳細な内容を記載） |
|  査読結果・審査結果連絡先 |
| 電子メール |  |

注）投稿論文等の内容に関する一切の責任は，著者らにあることに同意のこと．

注）著者が6名以上の場合には別紙の「理由書」を添付のこと．

（以下，提出不要．）

投稿表紙の「新規性」，「有用性」の欄にそれぞれ記載すること．

●新規性：内容が公知，既発表または既知のことから容易には導き得るものでないこと．

　以下に示すような事項に該当する場合は新規性があると評価されます．

　a) 主題，内容，手法に独創性がある．

　b) 学界，社会に重要な問題を提起している．

　c) 現象の解明に大きく貢献している．

　d) 技術者の教育・人材の育成に新たな貢献をしている．

　e) 創意工夫に満ちた問題の解決等に貴重な技術的検討，経験が提示されている．

　f) 困難な研究・技術的検討をなしとげた貴重な成果が盛られている．

　g) 時宜を得た主題について総合的に整理し，新しい知見と見解を提示している．

　h) その他（上記に該当なし）．

●有用性：内容が学術上，工学上，その他実用上何らかの意味で価値があること．

　以下に示すような事項に該当する場合は有用性があると評価されます．

　a) 主題，内容が時宜を得て有用である，もしくは，有用な問題提起を行っている．

　b) 研究・技術の成果の応用性，有用性，発展性が大きい．

　c) 研究・技術の成果は有用な情報を与えている．

　d) 当該分野での研究・技術のすぐれた体系化をはかり，将来の展望を与えている．

　e) 研究・技術の成果は実務にとり入れられる価値を持っている．

　f) 今後の実験，調査，問題の解決等に取り入れる価値がある．

　g) 問題の提起，試論またはそれに対する意見として有用である．

　h) 実験，実測のデータで研究，教育等の参考として寄与する．

　i) 新しい数表，図表で応用に便利である．

　j) 教育企画・人材育成上への取り組みに対する有用な成果を含んでいる．

　k) その他（上記に該当なし）．

以上